



慶應義塾大学出版会

新刊案内

2025

9月

〒108-8346 東京都港区三田 2-19-30

Tel: 03-3451-6926 / Fax: 03-3451-3124

<http://www.keio-up.co.jp/>



平積み印のついている本には特にご注目下さい。平積みいただければ幸いです。



はじめての倫理学



混迷の時代を生きるために

サイモン・ブラックバーン（ケンブリッジ大学フェロー）〔著〕／

柘植尚則（慶應義塾大学大学院文学研究科教授）〔訳〕

ココに注目！

- ・翻訳が待望された“もっともコンパクト”な倫理学の入門書。
- ・不寛容、政治不信の時代に、問題を考える力を養う。
- ・初学者向け人物・用語解説、読書案内など附録も充実。

現代哲学を代表するサイモン・ブラックバーン。政治不信や戦争、気候変動などの現代の問題をとりあげ、倫理学の考え方をういて応答する。コンパクトながら「規範・メタ・応用倫理学」をカバーする、「初学者が最初に読むべき一冊」として学者から定評の良書。

税込予価 **2,420 円** 四六判並製／192 頁

ISBN 978-4-7664-3058-5 C0010

対象：一般（現代の倫理の問題に関心をもつ読者）

部数：★★★★★

配本予定：9 月中旬

類書 佐藤岳詩「メタ倫理学入門」（勁草書房）

【営業部からのおすすめポイント】

本書は、難解なテーマを平易に解説することで定評ある Oxford Very Short Introductions シリーズのなかでも良書と名高く、翻訳が待たれていた一冊です。2020 年以降、コロナ禍やトランプ大統領の再登場などによって世界が大きく変動し始めたことに危機感を覚えた著者の大幅な加筆により、倫理学の基礎から日常的な問題、更に応用倫理学までを網羅する内容となりました。刊行時には倫理学の世界を深堀する選書フェアも鋭意企画中。ぜひご期待ください！（吉川）

関連既刊

『恥と運命の倫理学 道徳を乗り越えるためのギリシア古典講義』

バーナード・ウィリアムズ 著／河田健太郎・杉本英太・渡辺一樹 訳

定価 **3,960 円** 四六判上製／320 頁 ISBN 978-4-7664-2992-3 2024 年 10 月

『小さな倫理学入門』 山内志朗 著

定価 **770 円** 新書判並製／104 頁 ISBN 978-4-7664-2276-4 2015 年 10 月

部数は、★で約 500 部を表します。



「美食の国」フランスの誕生



ガストロノミーが作ったおいしい歴史

梶谷彩子（お茶の水女子大学基幹研究院研究員、東京都立大学・青山学院大学等非常勤講師）〔著〕

👉 ココに注目！

- ・「フランス＝美食の国」というイメージはどう定着したのか。
- ・「食べること」への思いが作り上げたフランスの豊かな食文化。
- ・空腹だけでなく、心も満たしてきた食の歴史をひもとく。

空腹だけでなく心も満たす、食の歴史へご招待。革命から、レストラン誕生、技術革新、地方の再発見まで——19～20世紀の文化をひもとき、フランスが「美食の国」へと変わる過程を描く。フランス食文化史の決定版。

税込予価 **2,970 円** 四六判並製／256 頁

ISBN 978-4-7664-3055-4 C0022

対象：一般（フランスの歴史や食文化に関心がある層）

部数：★★★★

配本予定：9 月下旬

類書 武末祐子「ガストロノミーの誕生」（左右社）

【営業部からのおすすめポイント】

パン、ワインにチーズ、マカロン、ショコラ、マドレーヌ……「おいしい」だけでなく、「かわいい」「おしゃれ」なイメージも併せ持つフランス料理。その「美食の国」のイメージは、どう形づくられたのか？ そこには思いがけない歴史がありました。身近でありながら語られてこなかった食文化史の決定版。

（福本）

【主要目次】

はじめに——フランスはなぜ「美食の国」なのか

第1章 フランスの「食の革命」

第2章 レストランの誕生——ガストロノミーとスターシェフ

第3章 美食の発展を支えたものたち——交通・テクノロジー・大衆文化

第4章 地方主義とガストロノミー——美食家たちの飽くなき探求

第5章 旅と食のおいしい関係——ガストロノミー・ツーリズムと美食ガイドブック

おわりに——「食べること」への思い



フェミニズムから読みなおす

インターセクショナリティ基本論文集



キンバリー・クレンショー（コロンビア大学ロースクール教授）、

パトリシア・ヒル・コリンズ（メリーランド大学名誉教授）他〔著〕／

佐藤文香（一橋大学大学院社会学研究科教授）・千田有紀（武蔵大学社会学部教授）〔編・監訳〕

📖 ココに注目！

- ・女性の経験を共有することは可能なのか？
- ・差別の交差性を明らかにする重要概念を、その誕生から現在まで網羅する基本論文集。

「インターセクショナリティ」は、人種、性別、階級など複数のアイデンティティが交差することで生じる差別や抑圧を理解するために1989年に提唱された。フェミニズム研究の観点から代表的な7つの論文を収録し、その意義を再考する必携アンソロジー。

税込予価 **3,520 円** A5 判並製／304 頁

ISBN 978-4-7664-3056-1 C3036

対象：（フェミニズム、ジェンダー研究を専門とする）研究者・学生

部数：★★★★

配本予定：9 月下旬

📖 類書 パトリシア・ヒル・コリンズ他「インターセクショナリティ」（人文書院）

【主要目次】

はじめに 千田有紀

第Ⅰ部 基礎編

第1章 人種と性の交差点を脱周縁化する——反差別の法理、フェミニスト理論、反人種差別政治へのブラックフェミニスト批評（キンバリー・クレンショー／土屋匠平 訳・山根純佳 監訳）

第2章 インターセクショナリティにおける定義上のジレンマ

（パトリシア・ヒル・コリンズ／孟令齊 訳・佐藤文香 監訳）

第3章 インターセクショナリティの複雑性（レスリー・マッコール／中林基子 訳・千田有紀 監訳）

第Ⅱ部 発展編

第4章 「パスワード」としてのインターセクショナリティ——科学社会学の視点から見るフェミニスト理論の成功条件（キャシー・デイヴィス／千田有紀 訳）

第5章 フェミニスト原典主義——インターセクショナリティと読解の政治

（ジェニファー・C・ナッシュ／永山理穂 訳・佐藤文香 監訳）

第6章 フェミニスト理論におけるインターセクショナルな転回——共通言語の夢？

（マリア・カービン、サラ・エーデンハイム／佐藤文香 訳）

第7章 インターセクショナリティの形而上学再考

（ホリー・ローフォード＝スミス、ケイト・フェラン／児玉谷レミ 訳・千田有紀 監訳）

編者解説 佐藤文香

関連既刊

『マテリアル・ガールズ フェミニズムにとって現実は何ほど重要か』

キャスリン・ストック 著／中里見博 訳／千田有紀 解説

定価 **3,960 円** 四六判上製／384 頁 ISBN 978-4-7664-2987-9 2024 年 9 月

『分析フェミニズム基本論文集』

木下頌子・渡辺一暁・飯塚理恵・小草泰 編訳

定価 **3,300 円** A5 判並製／308 頁 ISBN 978-4-7664-2855-1 2022 年 11 月

『美とミソジニー 美容行為の政治学』

シーラ・ジェフリーズ 著／GC ジャパン翻訳グループ 訳

定価 **3,520 円** 四六判／上製／368 頁 ISBN 978-4-7664-2817-9 2022 年 7 月

部数の★は、1 つで約 500 部を表します。



中東

サウジの憂鬱



平積み

パレスチナとアメリカの狭間で

近藤重人 (一般社団法人日本エネルギー経済研究所中東研究センター主任研究員) [著]

🔍 ココに注目！

- ・パレスチナ・イスラエル問題の起源から 21 世紀へと続く流れを平易に解説。
- ・「アラブ・イスラームの大義」と「アメリカに依存した権力維持」との間で苦悩する歴代サウード王家の姿を詳細に描く。
- ・歴史を知れば中東が分かる！ 混迷する中東情勢を読み解くための構図と着眼点を提示。

アラブ・イスラームの盟主を自認し、国際石油市場にも多大な影響力を持つサウジアラビアは、半面で近隣諸国の軍事力に怯えアメリカに安全保障を依存する。この構造が 4 度の中東戦争そして現在のパレスチナ・イスラエル問題にも色濃く影を落とす。混迷する中東情勢を歴史的視座で読み解くための一冊。

税込予価 **2,640 円** 四六判上製 / 240 頁

ISBN 978-4-7664-3049-3 C3031

対象：一般（中東情勢に関心のある層）

部数：★★★★★

配本予定：9 月中旬

📖 類書 岡真理『ガザとは何か』（大和書房）

【営業部からのおすすめポイント】

サウジアラビアはその国際的・地政学的重要性は誰もが認知しているにもかかわらず、我が国に入る情報は表層的なものが多く（ドラゴンボールのテーマパークを作る、など）、サウジ単独をテーマとした書籍もほぼ見当たらないのが現状です。本書は、サウジの国内情勢に精通した著者が、現地資料を丹念に渉猟して執筆した他に類のない書籍です。ぜひ積極的な展開をお願いします！

（乙子）

【主要目次】

プロローグ——アラブ・イスラームとアメリカの狭間で

第 1 章 読めない中東を読む——なぜサウジなのか？

第 2 章 イスラエル建国の衝撃——第一次中東戦争への道程

第 3 章 武器としての石油禁輸——第二次・第三次中東戦争とアラブの挫折

第 4 章 「石油による戦争」の成功と限界——第四次中東戦争とサウジの苦悩

第 5 章 中東和平のイニシアティブ——サウジは何を求めたか

エピローグ——歴史から読み解く、サウジ外交の構造

関連既刊

『アメリカの中東戦略とはなにか 石油・戦争・同盟』

溝淵正季 著

定価 **2,970 円** 四六判並製 / 280 頁 ISBN 978-4-7664-3045-5 2025 年 8 月

『石油が国家を作るとき 天然資源と脱植民地化』

向山直佑 著

定価 **4,620 円** A5 判上製 / 296 頁 ISBN 978-4-7664-3004-2 2025 年 1 月

部数の★は、1 つで約 500 部を表します。



または



天皇と皇室の近現代史

思想・制度・外交

笠原英彦（慶應義塾大学名誉教授）・小川原正道（慶應義塾大学法学部教授）【編著】

【ココに注目！】

- ・我々は天皇制をどの程度理解しているのだろうか。
- ・近現代日本における天皇・皇室の在り方はどのようにして今日の形となったのか、思想、制度、外交の観点から集学的・実証的に分析する。

近現代日本において、天皇・皇室の在り方はいかに構想され、制度化され、運用されてきたのか。日本史学、政治史学、思想史学、憲法学、社会学各分野の第一線で活躍する執筆陣による、最新の天皇・皇室論。

税込予価 **2,970 円** 四六判並製／392 頁

ISBN 978-4-7664-3050-9 C3021

対象：一般（天皇制・皇室に関心のある層）／
（近代日本史を専攻する）研究者、学生

部数：★★★★

配本予定：9 月中旬

【類書】大澤真幸・木村草太『むずかしい天皇制』（晶文社）

【主要目次】

序文

第Ⅰ部 天皇・皇室の思想史

第 1 章 日本における西洋諸国の女性君主理解——江戸知識人のロマンフ王朝女帝観を中心に

第 2 章 福沢諭吉と小泉信三の皇室観——一致・不一致とその影響

第 3 章 福沢諭吉『帝室論』『尊王論』の比較思想的考察

第 4 章 日本国憲法・現行皇室典範における「男系継承」「歴史・伝統」をめぐる議論・解釈

第Ⅱ部 天皇・皇室の近代史

第 5 章 近代天皇制の秩序形成に関する一断面——政治家私文書にみる近代献上のゆくえ

第 6 章 公家華族への恩賜金制度（一八九四～一九四六）——「皇室の藩屏」保護政策の一断面

第 7 章 明治後期における皇室継承をめぐる制度構想

第Ⅲ部 天皇・皇室の現代史

第 8 章 ポツダム宣言と天皇制——宣言第一二項と憲法・皇室典範改正

第 9 章 象徴天皇制下における側近体制の再編——田島道治の宮中改革から

第 10 章 明仁皇太子・美智子皇太子妃の模索——外国訪問・国内行啓を中心として

第 11 章 女性・女系天皇／女性宮家の政治過程——皇位継承議論の展開

あとがき

関連既刊

福澤諭吉著作集 第 9 巻『丁丑公論 瘠我慢の説』

福澤諭吉 著／坂本多加雄 編

定価 **3,300 円** 四六判上製／334 頁 ISBN 978-4-7664-0885-0 2002 年 9 月

『小泉信三エッセイ選 1 善を行うに勇なれ』

小泉信三 著／山内慶太・神吉創二・都倉武之・松永浩気 編

定価 **3,080 円** 四六判上製／304 頁 ISBN 978-4-7664-2383-9 2016 年 10 月

『天皇・皇室制度の研究 天皇制国家形成期の法と政治』

笠原英彦 著

定価 **9,350 円** A5 判上製／570 頁 ISBN 978-4-7664-2811-7 2022 年 3 月

部数の★は、1 つで約 500 部を表します。



または



高群逸枝 「共存の愛」の思想 民衆哲学から女性史へ

蔭木達也 (明星大学経済学部准教授) [著]

🔍 ココに注目！

- ・女性解放論者・女性史研究の嚆矢として著名な高群逸枝 (1894-1976) の思想を解き明かす。
- ・誰も置き去りにしない社会を目指した高群の生涯をかけた仕事を明らかにする。

女性解放論者、婦人運動の旗手、日本における女性史研究の嚆矢として著名な高群逸枝 (1894 ~ 1976) の思想を、最初期の評論「民衆哲学」「女詩人汝に語らん」に出現する「共存の愛」を軸に読み解いていく。本書は、誰も置き去りにしない社会を目指した高群の生涯をかけた、そして一貫した仕事を明らかにする。

税込予価 **3,960 円** 四六判上製 / 344 頁
ISBN 978-4-7664-3054-7 C3036

対象：(女性史 / 社会思想史を専攻する) 研究者、学生

部数：★★

配本予定：9 月中旬

📖 別冊 26 「高群逸枝 1894-1964」(藤原書店)

関連既刊

『国際的視野からみる近代日本の女性史』

政治経済・労働・セクシュアリティ

富田裕子、ゴードン・ダニエルズ 編 / 横山千晶 監訳

定価 **7,920 円** A5 判上製 / 456 頁 ISBN 978-4-7664-2702-8 2020 年 12 月



新標準講義 民法債権各論 全訂第3版

池田真朗 (慶應義塾大学・武蔵野大学 名誉教授) [著]

🔍 ココに注目！

- ・契約の基本を学べる実用的な債権各論テキスト。
- ・ビジネスの実践的・現代的課題にも対応。
- ・法務・契約業務理解のための入社前教育・企業研修にも最適。

本書は、分かりやすいと定評のある民法債権各論の標準教科書に、ビジネス法務学の視点から実践的・現代的課題にも対応した画期的なテキスト。法学部生の学習はもちろん、企業の新人研修や社会人のリカレント・リスキリング教育にも活用でき、契約・不法行為などの基礎に加え、電子契約や供給網といった実務的知識も習得できる。

税込予価 **3,080 円** A5 判上製 / 288 頁
ISBN 978-4-7664-3059-2 C3032

対象：学生 (契約の基本を学ぶ学部生) / 一般 (企業研修・社会人再教育)

部数：★★★★★

配本予定：9 月上旬

📖 池田真朗「プレステップ法学 第6版」(弘文堂)

著者既刊

『新標準講義 民法債権総論 全訂3版』

池田真朗 著

定価 **2,750 円** A5 判上製 / 304 頁 ISBN 978-4-7664-2628-1 2019 年 11 月